



越すに越せない？猛暑

先日、地元自治会の役員会で遅い暑気払いをした。話題は自ずと、この異常な暑さに集中。幹事役のYさんは出張でつい最近、北海道を回ってきたが、涼しい北海道を期待して出かけたものの、結果は真逆。異常な高温の中、住宅をはじめとして建物にはクーラーがなく、暑さに閉口。特にひどかったのが列車の中で、クーラーがないだけでなく、列車の窓が開かないようになってきていることから、暑さは尋常でなく、ひたすら汗を拭いているしかなかったとのこと。長らくイギリスに住んでおられたKさんは、ヨーロッパに住む日本人たちとZOOMで定期的なやり取りする会を開いているそうだが、そこでの話題もこの夏の異常な暑さに集中。イギリスをはじめとして北ほど、普通は夏も冷涼でクーラーはないことから、まともに異常な暑さを体感することに。クーラーはもう世界中どこでも必需品の時代になってしまったようだ▼今年の異常な暑さの原因として、人為起源による温暖化の進行に、エルニーニョ現象の発生が重なったとする見解が多い。一方でNASAゴダード宇宙科学研究所のギャビン・シュミット所長の「今年のエルニーニョは数カ月前に始まったばかりで、まだそれほど大きな影響を及ぼしていない。我々が今、目の当たりにしている事象はエルニーニョが原因ではなく地球温暖化」との指摘もある。またWMOとEUの気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス(C3S)」は、「産業革命前と比べた気温上昇幅が、北半球の夏としては初めて約1・5℃に達した」との発表もあり、気に掛ることばかりだ▼年寄りや冬を越すのが大変とされてきたが、どうも夏を超す方が大変な時代に変わりつつある。暮らしも含めて、根底から地球のあり方が問われていることは間違いない。

(土着菌)